

## さとやまの木道の補修



ファミリーパークに設置している「さとやまの木道」は、2013年以降設置して8年目です。昨年から急激に木材の腐食がすすんだことから、パークとも協議し、防腐処理した基材を使用し、6月から修繕や補強をおこなってきています。しかし、腐食箇所が想定以上に多くあり、キリン舎前からトンボの沢上部の木道を残して解体することになりました。今年は雪が融けるのをまって、3月3日からのべ4日間かけて整備しています。

この「さとやまの木道」は、車いすやベビーカーでも通れる木道(インディペンデンス・ボード)として整備し、8年前から基材購入の寄付や支援を募って延びてきましたが、年月が経てば木材も痛み始めます。現状は既存の設備維持を中心に作業をすすめますが、大幅な見直しも視野に入りたいと考えています。

## 里山講演会 呉羽丘陵 今むかし

3月20日、ファミリーパーク講義研修室にて、「里山講演会 ～呉羽丘陵 今むかし」を開催しました。講師は、金屋ふるさとの会代表の吉村三次さん。聞き手は、花街道薬膳のまちを夢みる会の今井さんです。参加者は26名。

呉羽丘陵界隈を巡る古墳や貝塚、自宅付近や畑から出土した縄文期の石斧、石器、鉄精製(たたら)の跡。また金屋部落の由来、鋳物業や鉄砲生産の歴史、丘陵でのサツマイモやモモ、お茶生産の歴史、カスミ網猟や手づかみでフナやナマズなどを捕る、黄イ



チゴ、ゼンマイ、ワラビなどの山菜収穫、ドクダミ・スギナ茶などの活用のお話。戦時は丘陵を目印に米軍が焼夷弾を投下したこと、「陸軍用地」石碑跡、つぶれた鉄砲の球拾いで小遣い稼ぎしたことなど、縄文時代から近世現代までの人と民俗の歴史をお話いただきました。

お話のボリュームも多く、参加された方からも質問も相次ぎましたので、秋以降、第2弾の講演会を検討したいと思っています。

## くれは丘陵フットパス 春一番のオウレンを訪ねる

3月13日、呉羽丘陵フットパス「月いちウォーク」では、5K 8Kコースともに、「春一番の花オウレンを訪ねて」をテーマにウォーキングをおこないました。参加者は122名。

オウレンは雪解けとともに開花し、生薬としても利用されています。この日のオウレンは、白い花がほぼ満開で、可憐なお花畑を楽しんでいただきました。



### ～その他の活動～

- 3月2日 森づくりホートセンター懇話会
- 3月27日 とやま健康パーク主催「みんなでウォーキング」講師対応